

ソーシャルメディアの利用離れは生じているのか

松尾 太加志
(北九州市立大学文学部)

目的

メディアコミュニケーションでは、対面コミュニケーションの持つ様々な制約の解放がなされ (松尾, 1999), いつでもどこでも簡単にコミュニケーションが可能となった。しかし, スマホなどの新しいメディアや SNS の普及に伴い, ネットワークでのコミュニケーションが対人ストレスを生むようになった。加藤 (2013) は, SNS でのネガティブな経験が SNS 疲れに繋がっていることを面接調査によって明らかにした。

本研究では, ソーシャルメディアの利用離れが生じているのか, 生じているとすると, メディア利用上のどのような経験がそれを引き起こしているのかを質問紙調査によって検討することを目的とした。

方法

調査対象者 北九州市立大学の学生 92 名 (男性 25 名, 女性 67 名)。年齢は 18~21 歳で平均は 18.8 歳。

質問紙 PC, スマホ, ソーシャルメディア (LINE, Twitter, Facebook 等) の現在の利用頻度, 1 年前と比較した利用の増減, 利用控えや止めることを思ったかについて, それぞれ 5 件法で回答を求めた。また, 利用上のストレスの経験に関しては, 佐藤・矢島 (2015), 加藤 (2013), 株式会社ジャストシステム (2013) を参考に, 嫌悪的情報閲覧, 誇示的情報閲覧, 情報発信の気遣い, 否定的応答懸念, 疎外感懸念, 義務的応答, セキュリティ懸念, 個人情報拡散懸念, スマホ依存懸念, 未知者との関係性懸念などについて 41 項目を設け, 経験の有無を 4 件法で尋ねた。

手続き 2016/10 の授業中に配布し回答後, 回収した。

結果

表 1 に各メディアの利用の増減の割合を示した。

利用上のストレス経験 41 項目については因子分析 (最尤法, プロマックス回転) を行い, 因子負荷量がどの因子にも高くなかった 15 項目を削除し, 26 項目での因子分析の結果, 「投稿迷い」, 「スマホ依存懸念」, 「未知者交流懸念」, 「ポジティブ投稿閲覧嫌悪」, 「ネガティブ投稿閲覧嫌悪」, 「情報拡散不安」, 「セキュリティ不安」, 「批判・争い不安」の 8 因子を得た。

各因子の因子得点の平均を, 各メディアの利用の控えの有無の 2 群に分け算出し, その差を示した (図 1)。

表 1 メディア別の利用増減 (1 年前との比較) の回答

	PC	スマホ	LINE	Twitter	Facebook	Instagram
減少	22 (26.8%)	5 (5.5%)	8 (8.7%)	12 (15.2%)	15 (31.9%)	3 (6.8%)
増加or 変化なし	60 (73.2%)	86 (94.5%)	84 (91.3%)	67 (84.8%)	32 (68.1%)	41 (93.2%)
合計	82	91	92	79	47	44

利用の控え有無で有意な差または差に傾向がみられたのは, スマホ依存懸念因子でスマホ, Twitter, Instagram, 未知者交流懸念因子で PC, LINE, Facebook, セキュリティ不安因子で PC, Facebook, Instagram, 批判・争い不安因子で Facebook であった (図 1)。

考察

調査対象者が限定的であったが, 利用増減で見ると (表 1), ソーシャルメディア離れは進んでない。ただし, 利用上のストレスの経験が利用控えを誘発している (図 1) と考えられる。

引用文献

- 株式会社ジャストシステム (2013). 大学生の LINE 利用実態調査 Fastask Retrieved from <https://marketing-rc.com/report/report-undergraduate-line-20130620.html#free-download-h3> (2013 年 7 月 3 日)
- 加藤千枝 (2013). 「SNS 疲れ」に繋がるネガティブ経験の実態: 高校生 15 名への面接結果に基づいて社会情報学, 2, 31-43.
- 松尾太加志 (1999). コミュニケーションの心理学—認知心理学・社会心理学・認知工学からのアプローチ—ナカニシヤ出版
- 佐藤広英・矢島玲 (2015). 大学生の SNS における対人ストレス: 社会的ネットワークとの関連 日本教育心理学会第 57 回総会発表論文集, 475.

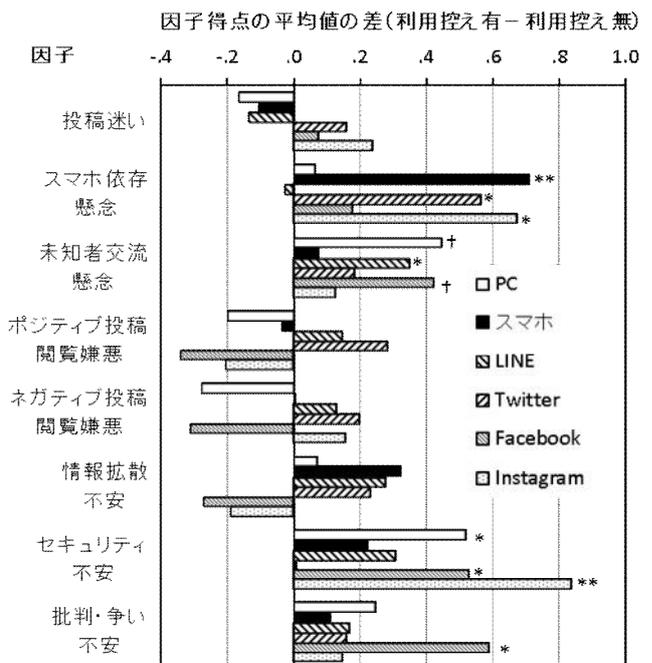


図 1 メディア別の利用控え有無の因子得点の差。
** $p < .01$ * $p < .05$ † $p < .10$

付録 利用上のストレスの質問項目における因子パターン

項目番号	質問項目	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	因子6	因子7	因子8
		投稿迷い	スマホ依存懸念	未知者交流懸念	ポジティブ投稿閲覧嫌悪	ネガティブ投稿閲覧嫌悪	情報拡散不安	セキュリティ不安	批判・争い不安
23.	投稿するときその内容について悩んでしまった	.872	.020	.137	.063	.002	-.035	-.005	.010
22.	自分の投稿をみる人のことを考えて、何を投稿するか悩んだ	.845	.028	.183	-.054	.066	-.037	-.003	.025
24.	知り合いのプライバシーを気にして投稿内容に悩んだ	.762	-.030	-.033	.055	.032	.239	.046	-.055
33.	ちょっと時間が空いただけでもスマホを使ってしまう、控えるべきだと感じた	.109	.919	-.141	-.113	.066	-.042	.109	.068
34.	長い時間スマホやPCでネットを閲覧してしまい無駄な時間を過ごしたと思った	.069	.570	.242	.070	-.133	.103	.117	-.051
32.	食事中などでもスマホを見てしまい、ながらスマホはよくないと思った	.032	.545	.138	.100	.045	-.006	-.094	.159
36.	スマホを使わなければもっと充実した時間が過ごせると思った	-.124	.506	.223	.173	-.016	.014	.063	-.024
40.	現実世界で交流がない人の投稿に反応するのを面倒に思った	-.044	.082	.743	.101	.104	.136	-.020	-.020
38.	見知らぬ人からSNSを介して連絡がきたとき、どう対応してよいか悩んだ	.136	.043	.557	.007	-.008	.017	.141	.061
39.	業者からの宣伝や勧誘のメールなどがよく来て面倒だと思った	.229	.074	.465	-.047	.069	.067	.026	-.121
41.	知り合いだけど友達申請がきてどうしていいのか困った	.142	.140	.420	.004	.012	-.154	.012	.025
06.	過剰な自己アピールをする投稿をみて嫌だと思った	-.026	.097	.005	.971	.072	.008	.008	-.035
05.	周囲の評価を集めようとしている投稿をみて嫌だと思った	.007	.121	-.004	.615	.336	.025	-.102	-.024
07.	実物よりも良い容姿に見える知り合いの自撮り写真の投稿をみて嫌だと思った	.125	-.071	.126	.417	.148	-.106	.070	.127
02.	誰に対してなのか分からない悪口や愚痴の投稿をみて嫌だと思った	-.012	-.008	.175	.075	.799	.017	.019	.063
01.	鬱(うつ)っぽい投稿や、病んでいる投稿をみて嫌だと思った	.127	.041	-.125	.280	.700	.018	-.106	-.060
03.	下品な内容の投稿をみて嫌だと思った	.070	-.083	.320	.224	.511	-.099	.035	.122
27.	知らないうちに自分の情報を投稿された	.022	.101	.147	-.135	-.104	.838	-.155	.028
28.	自分のプライベートな情報を広められた	.022	-.019	-.164	.021	.049	.768	.140	.151
26.	周りに知られたくない情報を知り合いに投稿された	.118	-.095	.078	.064	.058	.560	.339	.115
31.	自分の個人情報を見られてしまうのではないかと不安に感じた	.095	.036	-.060	.003	.063	.079	.831	-.046
30.	IDやパスワードが盗まれてしまうのではないかと不安に感じた	-.126	.068	.109	-.056	-.024	.024	.748	.057
29.	ウイルスが侵入してしまうのではないかと不安に感じた	.205	.048	.121	.017	-.299	-.067	.473	-.012
17.	SNS上で言い争いになってしまった	.043	.011	-.027	.184	-.201	.091	-.013	.849
15.	自分に対する愚痴や悪口の投稿をみた	-.037	.042	.036	-.218	.238	.075	-.047	.657
12.	自分の投稿内容が誤解を受けてしまった	-.076	.162	-.037	.096	.105	.127	.128	.400